

元気いっぱい！ 夢いっぱい！



菊池っ子だより

vol.81

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎ 学校教育課 ☎ 0968(25)7231

泗水中学校

3月25日、26日
プラチナ「森の学校・きくち」で学ぶ



参加した生徒会役員の生徒たちは「とても充実した2日間を送ることができた」と有意義な様子で話していました

オンラインで行われた「プラチナ『森の学校・きくち』」に生徒会役員が2日間、参加。1日目は「現在起きている問題に目を向ける」、2日目は「未来に起こるであろう問題に目を向ける」をテーマに講義を受け、グループ活動や討議を行いました。他校生とも意見を交わし、視野を広げることができました。

菊池北中学校

4月8日
朝の清掃活動で校内外をきれいに

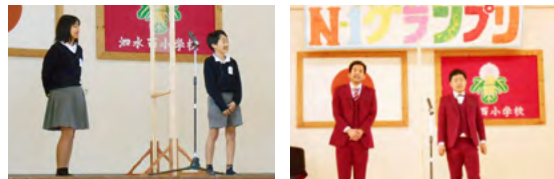


生徒は「北中のために活動することができてうれしい」「通学路がきれいになって気持ちがいい」と笑顔で話していました

「人が環境をつくり、環境が人をつくる」の言葉を胸に生徒たちは長年、朝の清掃活動に取り組んでいます。春休み期間中は部活動有志による校内の清掃、始業式の日には各部活動で分担し、校舎内外の清掃を実施。北中の自主ボランティア組織「みんなを喜ばせ隊」は、校外でも積極的に清掃を行っています。

泗水西小学校

1月28日
笑って学んで漫才に挑戦



コロナ禍で児童と6年生の保護者の前でのみの発表となりましたが、参観できない人のためにオンライン公開も行いました

プロの漫才師による出前授業を通じて表現力や想像力を育む「笑育」に6年生が挑戦。吉本興業の「もっこすファイアー」の2人を講師に漫才の作り方や発表の仕方を指導してもらいました。6年生自作の漫才の発表に加え、プロの漫才を見ることもでき、体育館は笑いの渦に包まれました。

七城小学校

3月4日・11日
熊本地震の教訓を学び伝える



見学地での積極的な学習、仲間を大切にする行動など6年生の小学校生活の集大成といえる立派な様子が見られました

6年生は修学旅行で熊本地震の被害に遭った東海大学阿蘇キャンパスを見学。崩れた断層や土砂、鉄筋むき出しの柱を見て、児童は「どこで地震が起きるか分からない。教訓を後世へ伝えたい」と話しました。後日、地震避難訓練では6年生の学びを全学年に発表し、訓練に真剣に取り組んでいました。

菊之池小学校

3月12日、15日
豊かな心を育てるために



児童たちが整備し花いっぱいになった学校。読み聞かせでは、おはなしの世界に引き込まれ、児童たちの目が輝いていました

児童の豊かな心の育成の一環として「花壇コンクール」を実施しました。児童と担任で世話をし、各学年のどの花壇がきれいに整備されているかを競い、2年生の花壇が優勝。また、「本は心の栄養」ということから、読み聞かせ団体「きくちおはなしのもり」の皆さんに全学級で読み聞かせをしてもらいました。

市内3高校の魅力を伝えます！

高校魅力化全力通信

vol.38

今月は 菊池高校

問い合わせ先 ☎0968(25)3175



卒業式で式辞を述べる奥田栄純校長。卒業生147人が巣立っていきました

第73回卒業式を3月1日に生徒と保護者、学校職員のみで行いました。新型コロナウイルスの影響で、斉唱もなく、CDが流れるだけでしたが、在校生代表の平美月さんが卒業生にはなむけの言葉を送ると、卒業生代表の宮本怜さんが、後輩や保護者へ温かいメッセージで応え、自身の思いを述べました。たくましく成長した147人（普通科77人、商業科70人）が学び舎を巣立って行きました。この一年は、新型コロナウイルスに翻弄されてきました。昨年4月から2カ月間にわたる休校が続く、菊池祭体育の部も高校総体・総文祭も高校野球の県予選も中止。代替大会が行われた競技もありましたが、中断された大会もありました。

笑顔と涙の卒業式

菊池祭文化の部も開催が危ぶまれましたが、本校生とその保護者に限定しての開催にこぎ着けることができました。3年生はバンド演奏やダンスを披露。生徒からの熱い要望があり実施したもので、生徒は自粛生活でたまったストレスを舞台上で発散していました。生徒の頑張りで、就職は今年も内定率100%でした。それぞれの夢に向かって羽ばたいてほしいと願っています。

空いている教室を活用
新たな学校改革も始動

11年前、教室棟は各階8教室すべて埋まっていた。しかし、年々少子化が進み、生徒数が減少。現在は空き教室を展開授業として利用したり、視聴覚室やパソコン教室として利用したりしています。

また、本校は次の視点に立って学校改革に取り組み、スパーグローバルハイスクール（※）を推進します。

【研究内容】

- ① 地域・社会に開かれた学校
- ② 地域産業・経済に寄与する学校
- ③ グローバル人材を育成する学校
- ④ 地域交流とまちづくりを推進する学校
- ⑤ 主体的・対話的で深い学びを重視した授業の推進

安心・安全な学校生活を

本年度もスクールカウンセラーのほか、社会福祉士や精神保健福祉士の資格を持ったスクールソーシャルワーカーが常駐しています。生徒だけでなく保護者の相談も可能です。安心・安全な学校生活が送れるよう今後も整備を進めていきます。

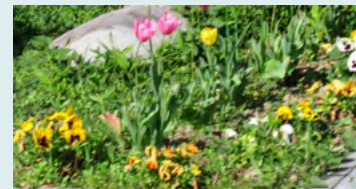
学校が変われば、教師が変わる。教師が変われば生徒が変わる。これからの菊池高校にご期待ください。

※県教育委員会指定研究開発事業。「地域に根を張り、未来を拓く」をキーワードに、国際社会で通用する能力やグローバルな視点を持ちつつ、地域社会の活性化や発展に貢献する人材の育成を目指します



令和2年度退任式

3月26日に退任式があり、11人の先生が退任しました。最も長い先生で11年間に在籍。それぞれ生徒にメッセージを送りました。4月からは新たに10人の先生が着任しています。



校内を彩る春の花

花壇は前環境保健部長の先生を中心に整備。気温が高く開花が早まり、新入生を迎える4月上旬には満開の時期を過ぎてしまいましたが、校内を鮮やかに彩りました。

2020熊日新聞コンクールの高校PTA新聞の部で佳作に入選しました。「菊高生の今の姿を伝えたい」。この一念で3学期間発行してきました。昨年度は新型コロナウイルスの影響で編集は困難を極めました。総体や総文祭が中止になった時は、主将や部長に後輩に託す思いを書いてもらいました。また、コロナ禍の中、不安を抱える家庭のために感染予防対策を紹介。各号工夫を重ねています。これまで発行したPTA新聞「大掠」は本校のホームページにも掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



PTA新聞「大掠」はこちらから

PTA新聞「大掠」が
コンクールで入選！